

例会報告

第2742回例会報告議事録

日時 令和6年3月12日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：リオ五輪柔道78キロ級
銅メダリスト 越後佳苗様

ビジター：なし

S.A.A.：村越会員

会長挨拶

倉持会長



本日は越後佳苗様、お忙しい中お越しいただきまして、ありがとうございます。卓話もお引き受けいただき、この後よろしく願いいたします。

昨日の3月11日で東日本大震災から13年が経ちました。被災された方々、現在も向き合っている方々、改めて心よりお見舞い申し上げます。

先日、3月8日に習志野で開催されましたロータリー希望の風 奨学金チャリティコンサートに参加してきました。予定があり最後まで参加できなかったのですが、ロータリー希望の風 奨学金について少し紹介したいと思います。

ロータリー希望の風 奨学金は東日本大震災で両親または片親をなくした子ども達に大学や短期大学、専門学校への進学をあきらめないでほしいという思いから生まれ、震災直後に日本国内のロータリアンから寄せられた義援金、支援金の一部約3億円を資金に未来ある子ども達への支援として奨学金の支給が始まりました。

支援金は震災発生時に0歳だった子どもが大学を卒業するまで22年間を期間としスタートしました。

必要資金は総額で約10億8千万円と見込まれています。当初の資金だけでは賅うことができませんので、ロータリアンに限らず趣旨に賛同してくださった多くの方から寄付が寄せられ今日まで運営されています。

8日に開催されたチャリティコンサートに、この奨学金を利用して今年の春、大学を卒業される方がお越しになっていました。その方が「本当に助かりました。ありがとうございます。今度は自分が助ける番です」という趣旨のご挨拶をされていて、胸が熱くなりました。

このプロジェクトはあと9年ですが、被災地の復興は今後も続き、震災を風化させない、ロータリー希望の風 奨学金も継続させたい、という気持ちから今回のチャリティコンサートが開催されたのだと思います。

今年度、地区大会の会場でもこの奨学金の寄付を募っておりましたが、我孫子クラブでも今週末の2週間、募金箱を設置させていただき、皆様からお気持ちをいただければ幸いです。集まったお金は地区で取りまとめがあればそちらに、なければ支援口座がありますのでクラブ名で送金させていただきます。

奨学金の内容はホームページに掲載されておりますので、これを機会に一度ご覧いただければと思います。募金箱は事務局のところに置いておきますので、どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。

親睦委員会報告

寺井委員長



本日、受付で柏東クラブとの合同親睦例会のご出席をお聞きしましたが、来られていない方には別途、再確認して、バスの順番等もありますので改めて連絡させていただきます。

出席委員会報告

川村委員長



26名(出席免除者含む)出席(全員で33名) 出席率78.78%
業務による欠席：荒井会員、石原会員、梶会員、日暮会員、福武会員、
前田会員、湯下会員
ZOOMによる出席：古谷野会員

中央学院高等学校の甲子園応援について

野田会員



先日、卓話に来られた中央学院高校の甲子園が3月20日に決まりました。チケットを中央学院さんの方で用意できるとのこと、グループラインの方には1人1枚600円とお流ししたのですが、学校さんのご好意で、ロータリーさんにはいろいろお世話になっているということで無償にさせていただけることになりました。

行く方がいらっしゃいましたら今日、例会終了後に5分だけお話ししたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

地区より

藤本会員



先ほど倉持会長からご報告がありましたように、3月8日に習志野でロータリー希望の風 奨学金チャリティーコンサートが開催されました。ご参加いただいた倉持会長、関根幹事、野田会員、ありがとうございます。たくさんの方からご寄付もいただき、ありがとうございます。

翌々日の3月10日には、環境奉仕委員会主催の、館山の沖ノ島海水浴場での森の再生プロジェクトに参加してまいりました。

ツアー形式で地元のNPO法人の方に説明をしていただきながら、なぜ沖ノ島の森が破壊されたかという説明から始まりました。平成元年の台風で暴風が吹いただけでなく、コンクリート等が土に埋められ、土に水が沁みとおらない状況になっているとのこと。

子どもが非常に多く参加していました。子ども達は目を輝かせながら参加していました。

当クラブは環境奉仕委員会、青少年奉仕委員会がまだございませんので、その役割分担も次年度考えていただきたいと思います。

幹事報告

関根幹事



お席に置いてあります週報やお手紙や冊子は、必ずお持ち帰りいただきますようお願いいたします。



本日は卓話に呼んでいただきありがとうございます。

第二の人生ということで、オリンピックメダリストから公務員になった経緯等をお話しできたらと思います。

私は小学校1年生から30歳まで24年間、柔道をしてきました。小学生の時には柔道の他にも水泳、ピアノ、バドミントン、相撲などやっていました。体を動かすことが大好きだったので、いろんな競技をさせてもらいました。その中でやり続けたのが柔道でした。

私の人生の中で大きな分岐点が3つありました。

まず高校3年生の時に1回戦で負けた時、次は進路をどうするのか悩んだ時、最後は大学3年生の時の国際大会派遣見送りの時です。

社会人になって世界選手権や全日本、オリンピック等に出るのですが、ここまで至る経緯、なぜ公務員に移ったのかをお話しできたらと思います。

高校2年の時にインターハイ3位になって、来年こそ優勝旗を一緒に取ろうと高校の監督と約束して1年間努力したつもりでした。

私が入学した高校は今では考えられないほど厳しい高校で、朝6時半に学校に行き、道場の掃除をして、少しでも埃があると先輩方に怒られて1日正座をするような厳しい世界でした。が、やめたいとも思わなかったし、柔道では負けないぞという反骨精神を養ったような時期だったと思います。

2年生で3位になり、3年生で優勝を目指すも負けてしまい、どん底に落ちたのですが、この陽気な先生は「お前はまだまだやれるぞ」と後押しをしてくれました。もし怒られたら、もう柔道はいわとやめていたと思います。その時に、後押しをしてくれる存在に出会ったことが私の人生の大きな分岐点になったと思います。

私は警察官になるのが夢だったので、高校3年の時に警察官になるか、オリンピック選手になるために大学に進学するか、すごく悩みましたが先生の後押しもあり、オリンピックに少しでも近づくために大学に進学しました。

私は北海道出身なのですが、今までは一番強かった自分が一番弱くなるような強い大学に入学したことによって、自分の意識や甘さ等を見つめ直す機会があり、そんな中で学年が上がるごとに成績も上がり、大学2年の時に日本の4番手につきました。が上が強すぎて、オリンピックはまだ遠かったです。

2021年12月のグランドスラム東京という、日本人が4人派遣される大会で、4番手の私は当然派遣されると思っていたのですが、派遣されず、その時に初めて自分の考えが甘かったと思いました。

その時、リオデジャネイロオリンピックの時の柔道女子監督だった南條監督に、プロとはどういうことかわかるかと質問されました。私はプロはただお金をもらってやるだけでしょと甘く考えていたのですが、プロというのは「皆さんが一生懸命働いたお金を何もしないお前がもらうということで、試合に勝って結果を残すしかない」ということを教えてもらいました。ただ練習しているだけではだめなんだと厳しく教えてもらいました。

大学生でしたが月に1回くらい国際大会に派遣されていたので、国際大会に派遣されることや全日本合宿に参加するということは皆さんの税金を使っている、税金を使っているということはプロと一緒にだと説明を受けました。

私はミキハウスという会社に入社しました。その時、コーチが「お金をもらって柔道をするということと、お金を払ってやっている大学生とはわけが違う」ということを説明されました。当たり前前を当たり前前にはやれない奴がオリンピックにいけるわけないと、コーチからも監督からも学びました。

2012年のロンドンオリンピックには出場できないことが決まり、悔しい思いをして4年間を過ごし、2016年にオリンピックに出場することになるのですが、厳しいことを言ってくれた人たちのおかげでオリンピックに出場することができたと思います。

2016年の4月にオリンピック代表に内定しました。8月に大会で、その間の4ヶ月は練習も厳しくなるし、もちろん怪我もできないし、風邪も引けないし、車の運転や、食べるものにも気をつけて過ごしていました。

リオは本当に治安が悪くて、選手村に着いた日の夜にお湯が出なくなり水でシャワーを浴びることになり、リオは日本と季節が真逆で冬で水のシャワーはけっこう過酷でした。日本の塔の隣が違う国の塔だったのですが、そこからボヤ騒ぎがあったり、設備等も落ちるところがありました。

オリンピックではメダルが取れてよかったなと思う面もあるのですが、金メダルを目指していたので悔しかったです。

オリンピックが終わってから現役を引退しようと思っていました。ミキハウスの社長に引退したいと言に行ったら「今はお腹いっぱいだけだろう。お腹が空いたらまたやりたくなるよ。好きなことやってこい」と言われ、自由にさせてもらい、アメリカに留学に行ってきました。オリンピック選手ではない何もない自分になりたくて、アメリカで語学学校に行ってみたり、車を運転してみたり、道場に行ったりして、すごく新鮮な気持ちで5ヶ月くらい留学していました。語学は身につくまじりませんが、自分探しの旅はできたのかなと思っています。

2018年に試合復帰しました。が、柔道に本気で向き合うことがどうしてもできず、どうやったらやめさせてもらえるかなと考えながらやっていたので、成績もつながらないし怪我をして手術することにもなり、それで引退することを決めました。

引退することを決めた時にいろんな人にいろんなことを言われ、自分に何が残るのか、自分の人生設計について考えました。



2020年に、自分が何をしたいのかと考えました。自分は指導者にすごく恵まれて厳しさや愛情を持って育ててきてもらったと思っているのですが、自分がそれを若い選手にやっていけるのか考えた時にそれはできないと思い、引退後、後輩の指導には入らないことにしました。ただ将来は少年柔道をやりたいと思っているので、我孫子市で柔道ができたらと思っています。

引退する時にミキハウスも退社しました。後輩と全力で向き合えなかったからです。

なぜ地方公務員に移ったかというのと、2021年の東京オリンピックの時にスロベニアが我孫子市で調整練習をしていた時に参加させていただき、その時、我孫子市の方々が暖かく出迎えてくださったのがすごくいいなと思ったし、私も我孫子市に何かできることがあればなと思い、我孫子市でそのまま地方公務員になることになりました。

今は育休中ですが、4月から復帰するので我孫子市の皆さんと一緒にスポーツとか盛り上げていければと思っています。

我孫子市はまだやっていないのですが、夢先生やオリンピック教室というのがあり、中学2年生を対象に学校を回って教室をしています。いろんな地域の小学生、中学生たちがオリンピック選手と出会って一緒に遊んで、オリンピックって身近なんだな、楽しそうだな、やってみたいな、と思ってもらえるように活動できたらと思っています。

柔道教室もやっていますので、何かありましたらお声がけしていただけたらと思います。ごちゃごちゃのお話になって申し訳ないのですが、ご静聴いただき、ありがとうございます。オリンピックのメダルも持ってきているので、もしよかったら触ってみたりしてください。



閉会の点鐘

倉持会長

1点紹介もれがありました。柏ロータリークラブ青少年奉仕プロジェクトから「多様性の時代 いじめ・差別問題を考えよう」ということで映画「聲の形」が上映されます。3月26日(火)午前10時、午後1時開場でアミューズ柏だそうです。対象は中学生とのことです。ご興味のある方いらっしゃいましたら事務局までお申し出ください。

本日も例会に参加いただき、ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
倉持会長	本日も例会に参加いただき ありがとうございます。	1,000円
関根幹事	越後様 卓話ありがとうございます。	1,000円
小野会員	山部様 心に響く卓話をありがとうございました。	1,000円
上村(英)会員	越後様 貴重なお話ありがとうございます。	1,000円
川村会員	越後さん 本日は卓話ありがとうございました。	1,000円
木村(政)会員	越後佳苗様 卓話ありがとうございました。	1,000円
木村(隆)会員	山部さん 卓話 有難うございました。	1,000円
小池会員	山部さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	山部さん お話ありがとう!!	1,000円
谷川会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	越後様ありがとうございます。	1,000円
野田会員	山部様 卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	卓話いただき ありがとうございます。	1,000円
村越会員	越後様 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	山部様(旧姓)、卓話ありがとうございました。	1,000円
山本会員	山部様 貴重なお話ありがとうございました。	1,000円
依田会員	卓話ありがとうございました。 これからの我孫子をよろしく願います。	1,000円
米田会員	山部様 卓話ありがとうございました	1,000円
当日計		18,000円
今期累計		428,900円

今週の表紙「高野山桃山公園」千葉県我孫子市高野山454番地1号

手賀沼を一望できる高野山桃山公園は、緑と眺望を楽しむ高台と、緑を保存再生した斜面林、湧水を使って復活させたビオトープの3つのエリアで構成されています。眼下に手賀沼を見下ろす南向きの丘陵地は、市内でも屈指の絶景ポイントです。展望台のある場所は我孫子市最古の前原古墳が見つかった場所でもあります。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。